

前総合計画（H28～R7）の実績（成果）と 今後の方向性について

地方創生推進部 政策企画課

将来像・人口展望

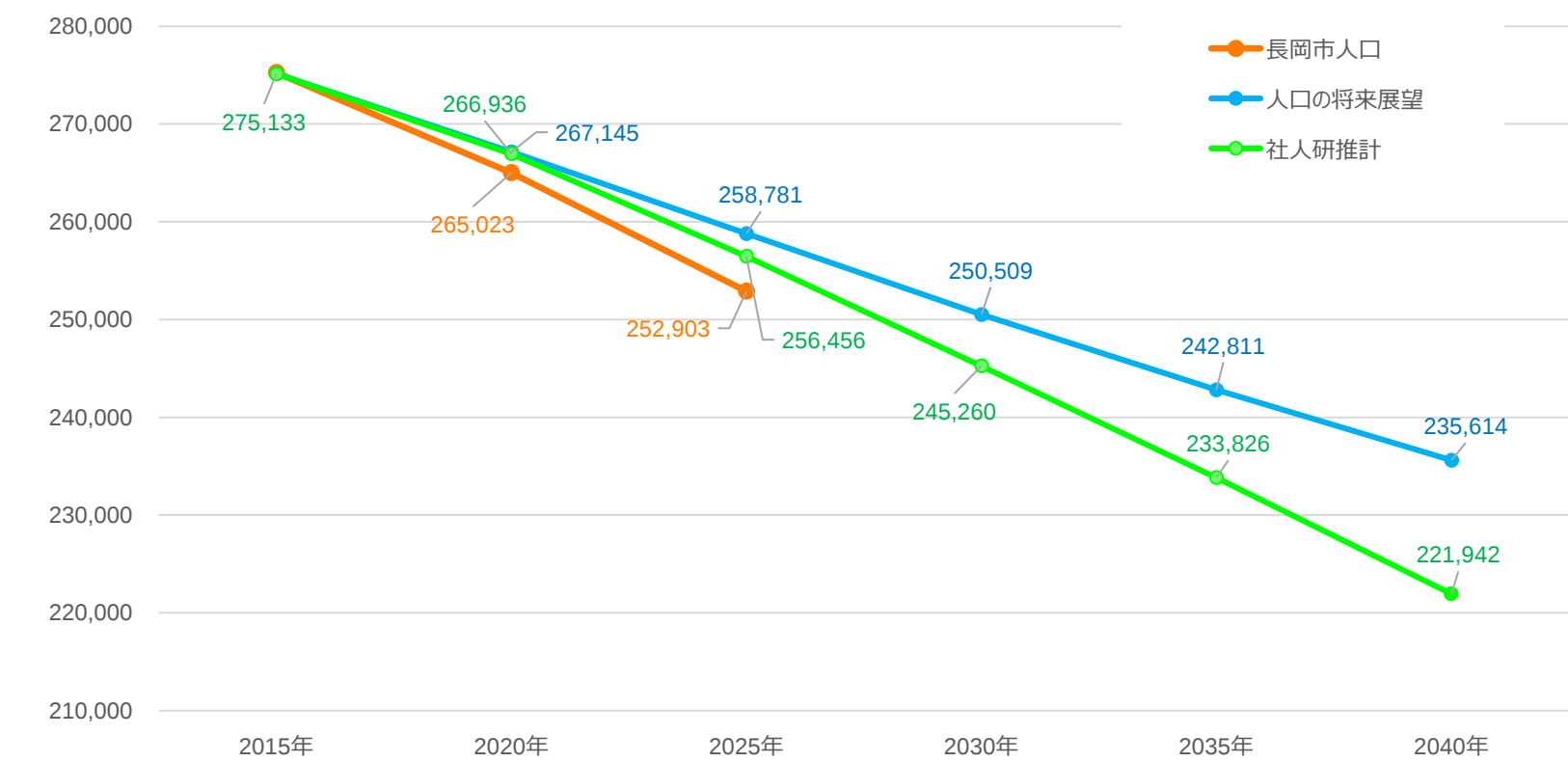
■「将来像」について

- ・ 現計画では「前より前へ！長岡 志を未来に活かし輝き続けるまち」を将来像として、人口減少に歯止めをかけるため、10年先20年先の未来を担う次の世代への投資に取り組むとともに、まちづくりを支える人や産業を積極的に応援することとしてきました。
- ・ 具体的には、あらゆる分野でのイノベーション推進、NaDeC構想の推進やミライエ長岡の開設など産学連携による産業創出や人材育成、起業・創業支援や産業団地の分譲、サテライトオフィスの誘致など働く場の創出、子どもの遊び場や保護者の相談・交流の場としての子育ての駅の充実、「熱中！感動！夢づくり教育」に基づく教育の充実など、着実に事業を実施してきました。
- ・ また、地域防災訓練や不登校支援など、地域の課題や実情に即した教育活動に子どもと地域の人との協働や、地域の宝の磨き上げ、郷土の歴史・文化などそれぞれの地域の特色を生かした地域学習を展開することでふるさと長岡への愛着と誇りを醸成してきました。
- ・ 中山間地域や支所地域においては、主な施策として、地域医療・地域交通の確保、鳥獣被害対策のほか、地域コミュニティへの活動支援や活動の場の確保等により、地域人材の発掘・育成など地域課題の解決に向けた取組を進めました。
- ・ しかしながら、未婚化、晩婚化などによる出生数の減少、首都圏等への若年層の市外転出などにより、結果的に人口減少に歯止めをかけるには至っていません。引き続き、若者や女性にとって魅力的な働く場の創出や子育て・教育環境・体制の整備などにより人口減少対策の取り組みを推進していきます。

■「人口の展望」について

- ・ 合計特殊出生率を段階的に上昇させ、2040年に2.19に到達すること。社会増減については、主に若者世代における純移動率が段階的に縮小し、2035年に均衡に至り、以降は社会増に転じていくことを目指していました。
- ・ これに対し、合計特殊出生率は、国、県よりも高い数値で推移しているものの、年々減少傾向にあります。また、社会減の状況が続いており、2035年に社会増減の均衡を達成するには、転入者を増やし、転出者を減らす取組を進めていく必要があります。
- ・ 令和8年4月に策定した新総合計画においても2035年に社会増減の均衡を目標としており、目標の達成に向け市民、事業者、行政が一体となり、住み続けたい、戻ってきたい、全国・世界の人々や企業から選ばれるまちとなることを目指します。

人口推移と人口将来展望、社人研推計の比較



【出典】 長岡市人口：新潟県人口移動調査結果報告
人口の将来展望： 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略/人口ビジョン～長岡リジュベネーション（長岡若返り戦略）～
社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

社会増減の推移

年次	2020	2021	2022	2023	2024
転入数（人）	6,262	6,149	6,442	6,363	6,412
転出数（人）	6,833	6,778	6,865	7,033	6,914
社会増減数（人）	-571	-629	-423	-670	-502

自然増減の推移

年次	2020	2021	2022	2023	2024
出生数（人）	1,628	1,597	1,596	1,445	1,358
死亡数（人）	3,436	3,602	3,569	3,904	3,800
自然増減数（人）	-1,808	-2,005	-1,973	-2,459	-2,442

【出典】 新潟県人口移動調査結果報告

合計特殊出生率の推移

年次	2020	2021	2022	2023	2024
長岡市	1.36	1.34	1.37	1.29	1.19
新潟県	1.33	1.32	1.27	1.23	1.14
全国	1.33	1.30	1.26	1.20	1.15

【出典】 合計特殊出生率：新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部「健康福祉環境部の概要」（令和8年4月）
※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数にあたる。

■政策1 協働によるまちづくり

市民力と地域力を活かして、新たな価値や活力を生み出すまちづくりを目指します。

- 市民の協働・交流の拠点であるアオーレ長岡を核として、市民活動は盛んになっており、アオーレ長岡は、市民活動の「ハレの場」として、市民主導の活動を実現する場として定着しました。また、市民協働センターによる市民活動団体の下支えや、補助金による支援活動など若者、女性、外国人など、さまざまなまちづくりの担い手の活躍や暮らしやすさを支える取組を進めています。
- 性別による固定的な役割分担意識など、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を認識し解消するための意識啓発を行い、審議会などの女性登用率が増えているなど、男女がともに社会に参画し、それぞれの意見や価値観が反映され、誰もが活躍できる「男女平等と共同参画をめざしたまちづくり」の実現を図っています。
- 近隣自治体との公施設の相互利用や消防出動の相互応援体制の構築を進めるなど、市民の暮らしやすさの向上に取り組んでいます。
- 経営的視点に立ち、民間活用・業務集約、公共施設の適正管理のほか、AIなどの先端技術の導入により行政事務の効率化及び生産性の向上に取り組みました。



二十歳のつどい



ウィルながおかフォーラムメインイベント



■政策2 人材育成

子育て支援や教育の充実、市民主体の文化・スポーツ活動への支援などにより、長岡への愛着と誇りを持った人材の育成を目指します。

- 人づくりを第一とする「米百俵」の精神を受け継ぎ、すべての市民の知恵と力を合わせてオール長岡で人材育成を進めています。すべての子どもの健やかな育ちを支えるとともに、保護者が安心して子どもを産み育てられるよう、保育環境・体制の整備や多様な保護者ニーズに対応する各種子育て支援を実施しています。
- Edu-Diver構想のもと、子どもたちがどのような状況でも学べる環境整備を進めるとともに、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」を活用し、関係機関と連携した地域に関するコンテンツ配信を拡充してきました。これにより、長岡への愛着と誇りの醸成や学びへの意欲向上につながっています。今後も学びの環境充実と地域資源を生かした学習を推進し、やる気や意欲を引き出し、夢や志を育成していきます。
- 東京フィル演奏会などの芸術文化事業の開催や市民の文化活動への支援など文化振興の充実を図りました。また、スポーツ選手の育成・強化に取り組んだ結果、全国大会等の出場者数が増加しました。



子育ての駅 ちびっこ広場



ままりうでの育児相談



「こめぷら」で動画の感想を話す児童



東京フィル コミュニティコンサート（アウトリーチ）

■政策3 さらなる産業の活性化

地元企業・地場産業への応援と、新たな雇用と産業の創出により、若々しく成長力のあるまちづくりを目指します。

- NaDeC構想が進捗するとともに、ミライエ長岡も開設し、産学連携による産業創出や人材育成を進めています。加えて、起業・創業や新たな企業立地についても成果が創出されています。
- サテライトオフィスの誘致については、着実に増加しており、テレワーク人材の育成も進めています。
- ミライエ長岡などを中心にイノベーションやスタートアップ育成などに、引き続き積極的に取り組むとともに、地元就職の増加について、積極的に取り組んでいきます。
- 農業、林業について計画的な事業進捗を図るとともに、脱炭素社会の実現に向け、環境と経済の好循環の取り組みを実施しています。
- 働き方改革の取り組みを推進し、市内事業者による合同説明会の開催や大学担当者と企業のマッチング等により、市内事業者の採用活動を支援するとともに、地元就職、U・Iターンを促進するため、「はたプラチナ賞」表彰制度による働き方改革の優良事例の発信、「NAGAOKA WORKER」によるテレワークの推進を図りました。



リーンローンチパッドプログラム



ナガオカワーカー交流会

■政策4 暮らしの安心と活力

市民の誰もが、健やかで元気に、安全で安心に暮らせて、活力が持てる地域社会づくりを目指します。

- 官民による健康づくり事業が進み、運動習慣がある人が増加しました。健康寿命延伸のために生活習慣病の予防や青壮年期への働きかけなどの取り組みを進めています。
- 救急体制や地域福祉の維持・充実を進めてきました。多様化・複雑化するニーズや課題に対応するために、行政・事業者・市民がより一層連携しながら、地域包括ケアシステムの深化・推進を進め、地域共生社会の確立に努めました。
- 住民主体の地域活動の支援により市内全地域にコミュニティ推進組織が誕生し、交流拠点施設の整備も進んでいます。
- 防災リーダーの育成や自主防災会組織の活動支援などにより、自助、共助、公助や地域防災意識の向上に努めました。
- 消費生活相談による消費者被害の回復や拡大防止、啓発事業による被害の未然防止など、市民の暮らしを守る取り組みを進めています。
- 支所地域において、市立診療所の維持やオンライン診療の導入による地域医療の確保や、地域交通の確保のためデマンド交通の立ち上げに取り組みました。
- 「捕獲」「被害防除」「環境整備」を柱に、地域住民と一体となって進めてきた総合的な鳥獣被害対策を継続していきます。



オンライン診療



健康づくり事業



自主防災会組織活動

■政策5 都市環境の充実

豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指します。

- 中越圏域の発展を見据え、広域的な幹線道路の整備が進み、地域間の連携強化や渋滞解消などの成果が表れており、拠点性を高めるまちづくりが進んでいます。
- 都心地区には中越圏域を支える多様な都市機能が集積し、人口減少社会に対応した持続可能でコンパクトなまちづくりが着実に進んでおり、ミライエ長岡には若者や産業人が集い、イノベーションが生まれる環境、まちの魅力を高める環境が整いつつあります。
- また、各地域拠点には、拠点性を向上させる都市機能を配置するとともに、都心地区や各地域間の連携・交流を促進するため、公共交通の確保や広域幹線道路網の整備を進めました。
- さらには、歩道の整備や雪害対策の推進、安定した上水道の提供など、快適で暮らしやすく、安全・安心な生活環境の整備が進んでいるほか、ごみの排出量の減少や温室効果ガス削減など、環境負荷低減の取組が市民にも浸透し、環境にやさしいまちづくりが進むとともに、自然環境の保全と開発とが調和したまちづくりが進んでいます。



ミライエ長岡（外観、内観）



中之島信条クリーンセンター



トチオーレ

■政策6 魅力創造・発信

地域資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、国内外に向けた魅力の発信や交流の促進により、「長岡ファン」の拡大を目指します。

- 摂田屋・宮内エリアでは観光ビジョンを策定し、同ビジョンの実装化を目指す取組を進めました。また、蓬平・山古志地域との二次交通の実証実験など面的な経済波及効果の拡大を進めました。
- 官民産学が連携した日本酒や味噌などの発酵文化、長岡産食材のプロモーションにより、ふるさと納税の寄付額は増加を続け、令和6年度には過去最高額となりました。引き続き、長岡らしい特色ある返礼品の充実に取り組みます。
- 観光情報の発信を行う道の駅が起点となり、市内の他施設へ観光客を誘導する周遊観光の推進に取り組みました。
- 各地域において、地域住民組織、各種活動団体等と行政の協働によって、各地域資源の発掘や地域の宝を磨き上げる取組、また、地域外の関係人口との連携、さらには、SNSなどの新しい媒体も活用した情報発信も行ったことで、地域資源を再認識したり、新たな視点での議論や新しい地域活動団体が組織されるなど、新たな活力が生まれています。



道の駅
ながおか花火館



旧機那サフラン酒製造本舗

土地利用構想

基本方針（１） 地勢上のつながりを踏まえた土地利用

基本方針（２） コンパクトで、広域的な拠点性を高める土地利用

基本方針（３） 各地域の多様性を活かし、長岡の総合的な魅力を発揮する土地利用

基本方針（４） 豊かさや安全・安心を支える土地利用

基本方針（５） みんなで考え、実践する土地利用

■ 総括

- 国土利用計画（長岡市計画）に基づき、総合的見地に立った土地利用規制を図り、無秩序な開発を抑制するとともに計画的な土地利用を進めました。
- 人口減少を受け止め、「安全・安心で、持続可能なコンパクトなまち長岡」を実現するため、都心地区に広域かつ高次の都市機能を集積させるとともに、広域幹線道路網の整備や高速交通体系が整った優位性を活かした拠点性を高める土地利用を図りました。
- 今後、さらなる人口減少や高齢化の進行に対応した市土利用・管理を図る必要があることから、国土利用計画（長岡市計画）に市土の管理構想を新たに定め、持続可能で自然と共生した土地利用・管理を進めていきます。



長岡北スマートインターチェンジ



長岡北スマートインターチェンジ周辺分譲地



長岡市中心市街地



左岸バイパス（北延伸）

『地域資源』を活かした地域づくり

方針１ 地域住民組織等、地域委員会、行政の協働による地域資源の発掘・磨き上げ

方針２ 11地域の「地域資源」同士を連携させるなど、「オール長岡」で魅力を創出

方針３ 魅力・価値向上のための効果的な情報発信の実施

■ 総括

- 各地域において、地域住民組織、各種活動団体等と行政の協働によって、各地域資源の発掘や磨き上げる取組、また、地域外の関係人口との連携、さらには、SNSなどの新しい媒体も活用した情報発信も行ったことで、地域資源を再認識したり、新たな視点での議論や新しい地域活動団体が組織されるなど、新たな活力が生まれています。
- 一方、これまで活動してきた多くの団体で、高齢化による担い手不足が顕在化し、事業内容の見直しや新たな人材の発掘、育成が課題となっています。
- そこで、地域委員会に代わる新しい体制として、コミュニティ推進組織と支所が一体になり、関係団体との連携強化や外部人材の活用によるオール長岡で地域を支える取り組みを進めていきます。



トチオノアカリ



楽山苑



長岡高専生が地域紹介パネルを作成（川口）